

実践発表会

保育士

どうやったら伝えられるのかと考えるのが難しかった。発表することが初めてだったのでどうやったら取り組んでいることが伝えられるのかわかりやすいのか何度も考えた。→物語調だったので話が理解しやすかったという意見も出てきた。

言語化することで自分の保育を見直すいい機会になった。

これからの保育に活かしていきたい

児童指導員・歯科衛生士・介護職員

どうしたら伝わるんだろうという気持ちが大きかった。保育士ではないので更に発表することに緊張した。

幹では常に歯科衛生士として働いているわけではなく、児童指導員や介護士として関わっている姿をどう伝えていくか難しかった。

歯科医院で務めているときは綺麗に磨き切ることが仕事であったが、幹では歯磨きできたことが大事。180度考え方が変わった。

歯磨きに不安を抱えるお母さんたちに伝えたい。その思いで今回発表に臨んだ。

保育園では同年代と一緒にだから歯磨きできる。児発では異年齢でもあり、特性も別でも一緒にはできる。お友だちや職員と一緒に楽しく歯磨きすることでできるようになる成長を伝えることができたと思う。

作業療法士

学会や研修会で話す機会はある自分の取り組みを発表する場はあったが、今回幹でみんなが職種超えて関わっている事を発表した。

以前から職員同士悩みながら子どもとの関りに試行錯誤している姿を発表したいと思っていたので今回いい機会になった。

人と関わる姿、成長していくということと自然と取り組んだことが実を結んだということが伝えられたと思う。

保育士

幹らんどでは医療的ケアのある子どもたちが通っている。異年齢で特性やケアも一人として同じ子はいない。けれどみんなで過ごすことでお互いに刺激しあい、たくましくなっていく姿を以前から伝えたいと思っていた。初めての発表で緊張もあり、思っていることを全部伝えられたのかという気持ちもあるがよい機会になった。季節に応じて様々な遊びをたくさん遊んだことで子どもたちの成長に通じたということが発表を通して振り返る機会になった。これからも子どもたちに丁寧に関わっていくとともに様々な経験ができるように取り組んでいきたい。